※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　数学科

科目	**数学Ｂ**	単位数	2
使用教科書	新　高校の数学Ｂ　（数研出版）		
副教材等	なし		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	１回	１回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート作成について
  - 教科書の例や例題を参考に作成してください
  - 必要に応じて解説動画を視聴し、理解を深めましょう
- 学習の進め方
  - スクーリングまでにレポートに取り組むことを推奨します
  - 疑問点はスクーリングで質問できるよう、早めに着手しましょう
- 定期考査について
  - レポートと教科書の内容を中心に出題されます

困ったときは遠慮なく質問してください！

2　学習の到達目標

数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	数列 等差数列 等比数列 和の記号Σ 階差数列	a: 数列の定義，等差数列の公差や一般項，等比数列の公比や一般項について理解している。等差数列や等比数列の和の公式を適切に利用することで，数列の和を求めることができる。記号Σの意味や性質を理解し，適切に利用することができる。階差数列の意味と仕組みを理解し，特定の項を求めることができる。 b: 数列の各項が，項の番号によって求められる場合があることに，規則性に基づいて気づくことができる。数列の隣接する項の関係について考察することができる。問題に応じてΣのどの性質を利用すればよいか適切に判断することができる。もとの数列が，階差数列の和を利用して表現できることを理解し，説明することができる。 c: 数列の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。等差数列や等比数列の成り立ちに興味をもち，一般項や和を求めようとしている。Σや階差数列の仕組みに興味をもち，それを利用して数列の項や和を求めようとしている。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング
後期	数学と社会生活	ごみの量の推定 自転車シェアリング 電気料金と省エネルギー 平均気温と地球温暖化 標高と気温の関係 自転車が止まるまでの距離	a: 標本調査の考え方を用いた推定、状況に応じた数量の算出、消費電力量・電気料金の計算と総費用の算出ができる。データから基本統計量(最大値・最小値・移動平均)を求め、散布図の作成、近似直線の描画と値の読み取りができる。2 乗に比例する関数を用いた関係式の導出と、それを活用した数値計算ができる。 b: 標本抽出法の長所・短所を理解し、用途に応じて使い分けることができる。収束の概念を実感し確認できる。電気料金の仕組みを理解し、総費用についてグラフを用いて比較・考察できる。グラフから移動平均の意味と必要性を考察できる。変量間の関数関係を散布図やグラフで考察し、近似直線・近似曲線の方程式の求め方を理解している。様々な状況下での距離について考察できる。 c: 標本調査による推定方法に興味をもち、具体的に情報を集めて全体を推定しようとする。自転車シェアリングの最適配分や電気料金と省エネルギーの関係に関心をもち、自ら計算・比較しようとする。データの扱い方や地球温暖化について、自分なりに必要なデータを収集し考察しようとする。変量間の関係に興味をもち、グラフで視覚化したり関係式を求めたりしようとする。書物やインターネットを活用して自ら調べようとする。	定期考査 スクーリング	定期考査 スクーリング	レポート スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度